

各自の実践事例を持ち寄り今後につなげよう (第5回/全5回)

研修のゴール

各自の実践事例を持ち寄り互いに交流し、より良いICT活用の仕方を見いだす。

所要時間の目安 / 1グループの目安人数

20分程度 / 1グループ4名程度

準備物・資料

- 各自の実践事例の分かる資料等
- **資料1**
(新学習指導要領とGIGAスクール構想の関係)
- ワークシートイメージ5

研修の主な内容・流れ

- 各自の実践事例を持ち寄り、実践してみたい感想や気付いたこと等について交流する。(10分)



研修を進める際の手立てと工夫



研修担当者

「各自の実践事例について互いに紹介しましょう。取組に加えて、子供たちの反応や実践してみたい感想も交流しましょう。」



参加者A

「みんなの実践で共通していることは、子供たちの反応が良かった点ですね。」

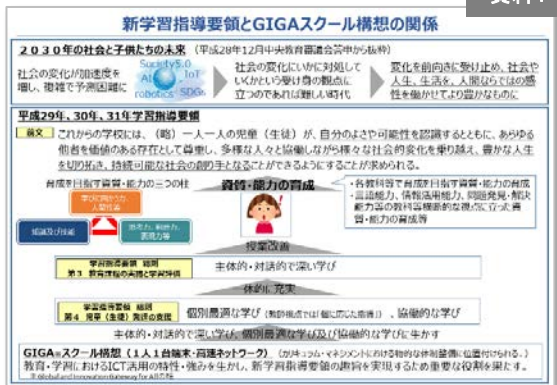


参加者B

「初めて授業でICTを使ってみました。うまくいかなかったところは子供たちが互いに声をかけながら進めてくれました。」

- これまで参考にしてきた資料等を見返し、今後につなげる。(7分)

資料1



研修担当者

「第1回の研修の際に見た資料を、改めて今回の実践と結び付けて確認してみましょう。その上で気付いたことがあれば、意見交換しましょう。」



参加者C

「各自が実践した上で改めて資料1を見ると、ICT活用の目的やGIGAスクール構想の趣旨を意識することができますね。」

【ポイント】

「各自の実践が、児童生徒の**資質・能力の育成につながっているか**」「ICT端末を活用すること**自体が目的となっていないか**」などの視点で振り返ることが大切です。

- 今回の研修のまとめを行う。(3分)

「GIGA StuDX メールマガジン」の配信

文部科学省では、「GIGA StuDXメールマガジン」として、学習指導等における1人1台端末の活用について、学校で役に立つ情報をお届けしています。この機会に登録してみましょう。



【ポイント】

各自が実践した事例を持ち寄り、実践の感想や互いの気づきを交流することが取組の推進につながります。今回の研修で終わりとするのではなく、子供の実態に合わせて研修内容をアレンジし、今後も随時改善を図っていくことが大切です。ICTの効果的な活用に向けて継続的に取り組んでいきましょう。